

障害者支援施設 悠久会銀の星学園 第1回地域連携推進会議 議事録

日時：令和8年2月4日（水）10：30～11：40

場所：銀の星学園 施設1, 2階全室訪問

出席者：（委員） （前）町内会長（法人評議委員）  
島原市役所福祉課・職員  
利用者家族代表（父兄会監査役員）  
（施設） 管理者、副施設長、生活支援員主任

施設内巡回の前に事業所の取り組みとして、敷地内にある生ごみ処理機（SDG sの取り組み）、蓄電池システム（災害時における電力確保）の見学

施設内巡回時に食堂及び給食提供の説明、各居室、浴場他など生活されている様子を見学していただく

事業所巡回後 会議施行（2F 会議室）

【議題】

1.管理者挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。地域連携推進会議とは色々な立場の方に施設の中を見て頂き、施設を良くする為に忌憚なきご意見を頂ければと思います。

2.出席者紹介

上記参加者の方に自己紹介をして頂く。

3.巡回の評価

委員…施設において無断外出や、風呂場での不慮の事故防止などで施錠をしてあることは、父兄として安心に思えました。以前（児童施設の頃）、外に出て海での水難事故にあったので。

施設…風呂場に関しては、お風呂好きの方が中に入られてしまい事故発生とならないように対応しています。出入り口に関しては、無断外出の心配もですが、重度の方がふらりと外へ出られてしまわれ、交通事故に合わないする為です。現在は、同様の事が起きないように、しっかりと閉めています。

委員…コロナ禍が有った事があり久しぶりに施設に入ってみて、随分と利用者の顔が変わったなと思いました。（年齢が上がった）

施設…コロナ禍により外に出る機会が減っていたので、安心安全な生活や行事を企画しています。

委員…ここは廊下も暖かくて、いいなと思います。夜間も含めて24時間暖房が入っていますか？寒い夜間なども快適でいいなと思いました。

施設…基本的には24時間対応しています。電気料金の事もありますので、その日ごとに対応しています。

委員…施設内廊下の天井が黒ずんでいるようですが、雨漏りですか？

施設…2階は屋根上に天窓が有り、強風を伴う大雨の時などに、隙間から漏れたりした事がありました。現在は、同じようなことが無いようにしっかりと閉めています。

1階は、梅雨から夏場にかけて廊下天井にカビが発生してしまいます。その為次亜塩素を使って、年2回殺菌・漂白をしています。どうしても黒ずみが残ります。

施設…鉄筋コンクリートの構造上災害に強い分、どうしても空気の流れが悪い部分があるかと思われます。何か対策を考えたいと思います。

委員…高齢化が進んでいるとの話しが有りましたが、介護保険の施設に移られたりしないんですか。

施設…当施設ではまだ移られた方はいませんが、利用者の方も介護ベッドに変えられています。最近難病により、療養介護に切り替えられた方はいらっしゃいました。また重症心身の方用の施設に移られた方など過去にありました。

知的障害者の方が高齢なられ老人ホームなどに移られた時に、健常者の方たちとかなかなかじめないとの話もお聞きします。

#### 4.銀の星学園入所状況他について

別紙あり

#### 5.利用者代表Kさんの現在の状況について

令和2年度より、当銀の星学園を利用して頂いており、4年ほどの在籍となります。それまでは自宅より就労されていた時代もありました。

#### 6.質疑応答

施設…4年前までは、ご自宅から会社に務められていたようですが、銀の星学園を利用されていかがですか？

Kさん…ここが良いです。

委員…施設の中ではどのようなことをされていますか。

Kさん…毎日リハビリ訓練、ドライブ、入浴、買い物などに参加しています。

委員…何か楽しみにされていることが有りますか。

Kさん…音楽活動（打楽器演奏）に参加しています。

施設…障害者芸術祭にも過去2回出演され又、イベントの時など他利用者さんと一緒に、練習の成果を発表されています。

閉会

〈別紙〉

銀の星学園入所者の利用状況、職員の配置状況、各種取り組み

銀の星学園の概要説明

法人名；社会福祉法人

施設名；銀の星学園

旧児童施設銀の星学園より、平成12年4月より現在の障害者施設に変更

銀の星学園入所状況について

施設入所・生活介護・短期入所・日中一時を実施

現在の在籍数

入所（37名）生活介護（入所35名 通所6名）、短期入所（2名）

入所者平均年齢 男性 51.7歳

女性 55.0歳

平均 52.5歳

上記の状態からも、入所者も高齢となり身体・嚥下・認知レベルの低下や進行が見られます。また、高齢に伴い、医療ケアが必要な入所者が増加。関係機関との連携やサービスの変更を行っている状況。

職員の配置（1.5：1）

（管理者1名、サービス管理責任者1.1名、支援員数 20名 看護師7名  
理学療法士1名 理学療法士1（外部）名 事務員3名 生活補助2名）

感染症対策委員会 3か月に1回 研修・訓練の実施

虐待防止・身体拘束適正化委員会 年2回以上 及び研修随時

防災・防犯面等に関しましては

火災想定避難訓練 年2回

（津波・高波・地震等想定訓練 年1回 防犯訓練 年1回）

SDGsへの取り組み 生ごみ処理機（生ごみ処理機導入） 令和2年度

BCP対策として 蓄電池システム導入 令和3年度

〈参考資料〉

### 給食提供に関する説明

現在銀の星学園の調理場では入所している利用者さん、きらり作業所、通所で当施設を利用されている利用者さんの食事提供を行っています。

人員としては栄養士が1名、調理担当職員が3名、調理補助がA型利用者6名で給食提供を行っています。

銀の星学園の厨房で提供している食数は朝、夕食で約40食ずつ、昼食で約70食、1日で約150食の食事の提供をしています。

また病院へ通われて食事の制限など必要な利用者さんには療養食の提供もしていて、心臓病食、脂質異常食、糖尿病食、痛風食などの食種があります。

また高齢で普通の形の食事が食べることができない利用者さんには小さく切ったり刻んだりミキサー食へ変更して、食事をしやすくする工夫もしています。

### 施設内見学の様子

生ごみ処理機



蓄電池システム



食堂の様子



会議風景

